

第 1 8 回

奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会

日 時：平成 2 0 年 6 月 3 日（火）

午後 6：0 0～

場 所：庁舎北棟 6 階 第 2 2 会議室

次 第

開 会

1. 議 事

- (1) 第 1 7 回策定委員会議事録概要版の確認
- (2) ごみ焼却施設の候補地選定について
- (3) 今後の策定委員会開催日程などについて

閉 会

(事前配付資料一覧)

資料 3 6 第 1 7 回策定委員会開催概要及び議事録概要版

資料 3 7 ごみ焼却施設の候補地選定 (案)

(参考資料)

- ・ 候補地区別の土地筆数及び所有者数一覧表
- ・ 施設見学行程

《策定委員会の開催概要》

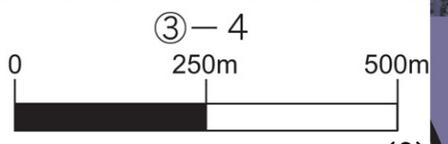
- ・ 第 1 8 回策定委員会開催概要及び議事録概要版

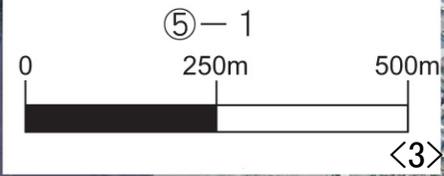
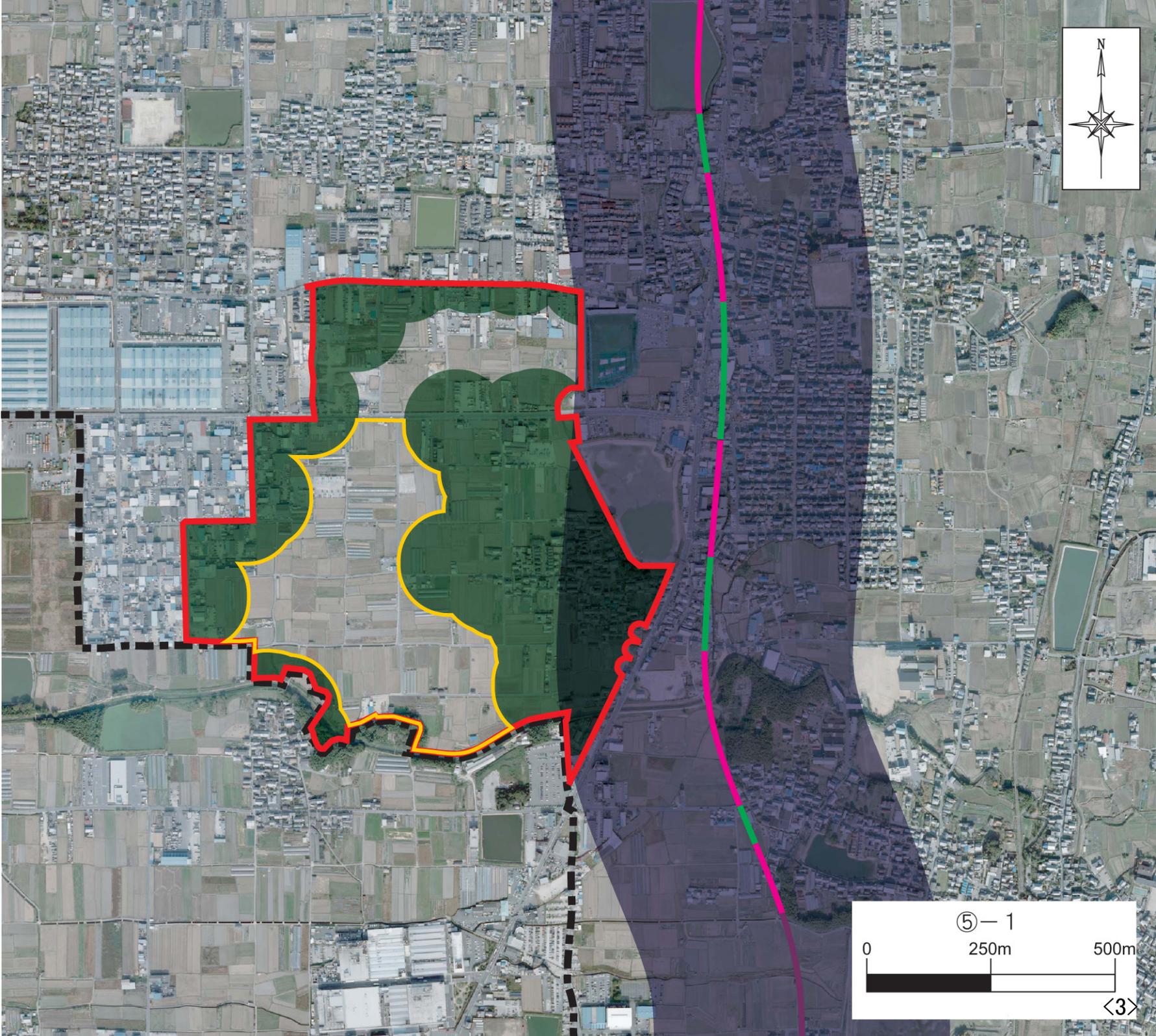
三次選定における候補地区の選定マップ

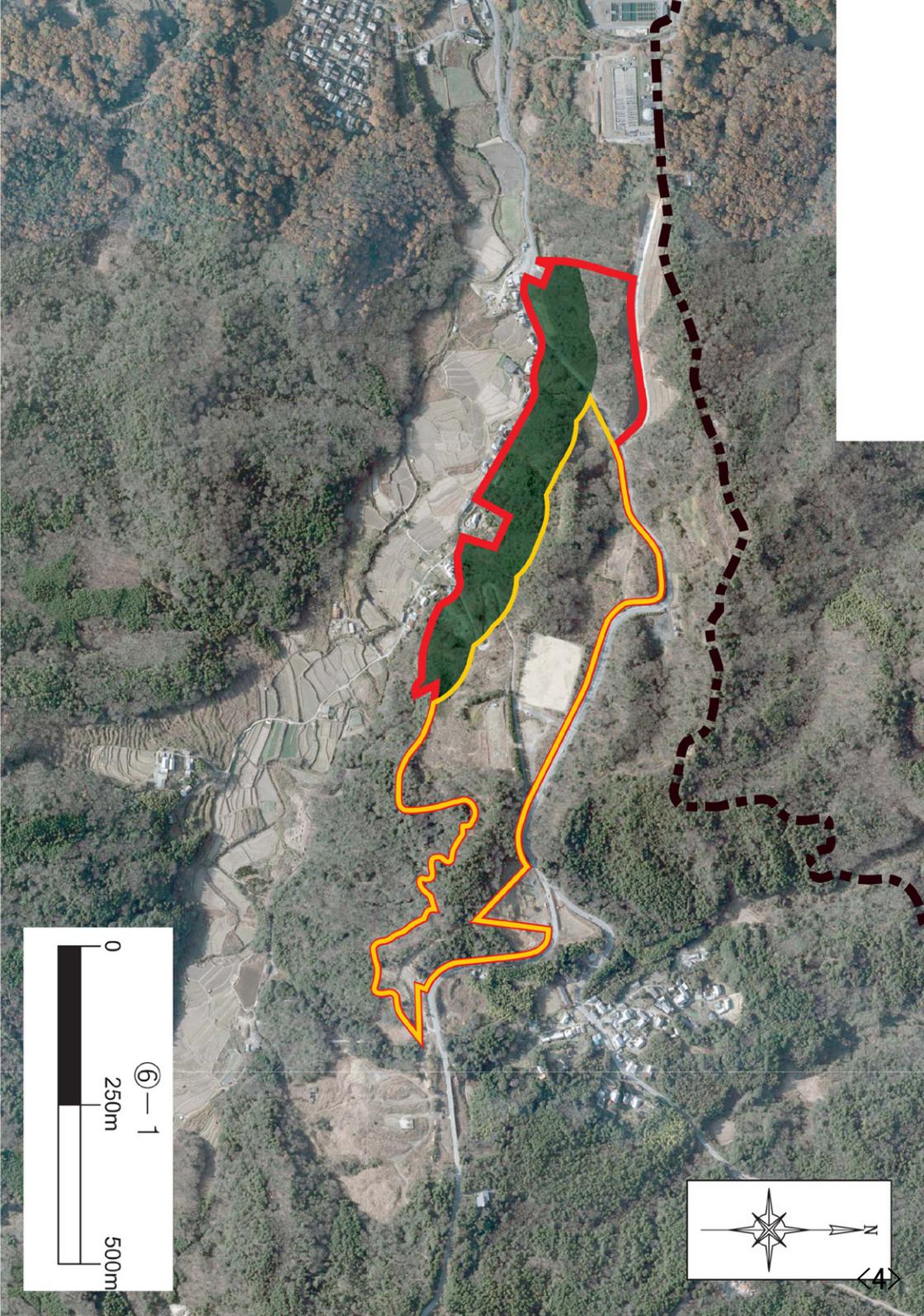
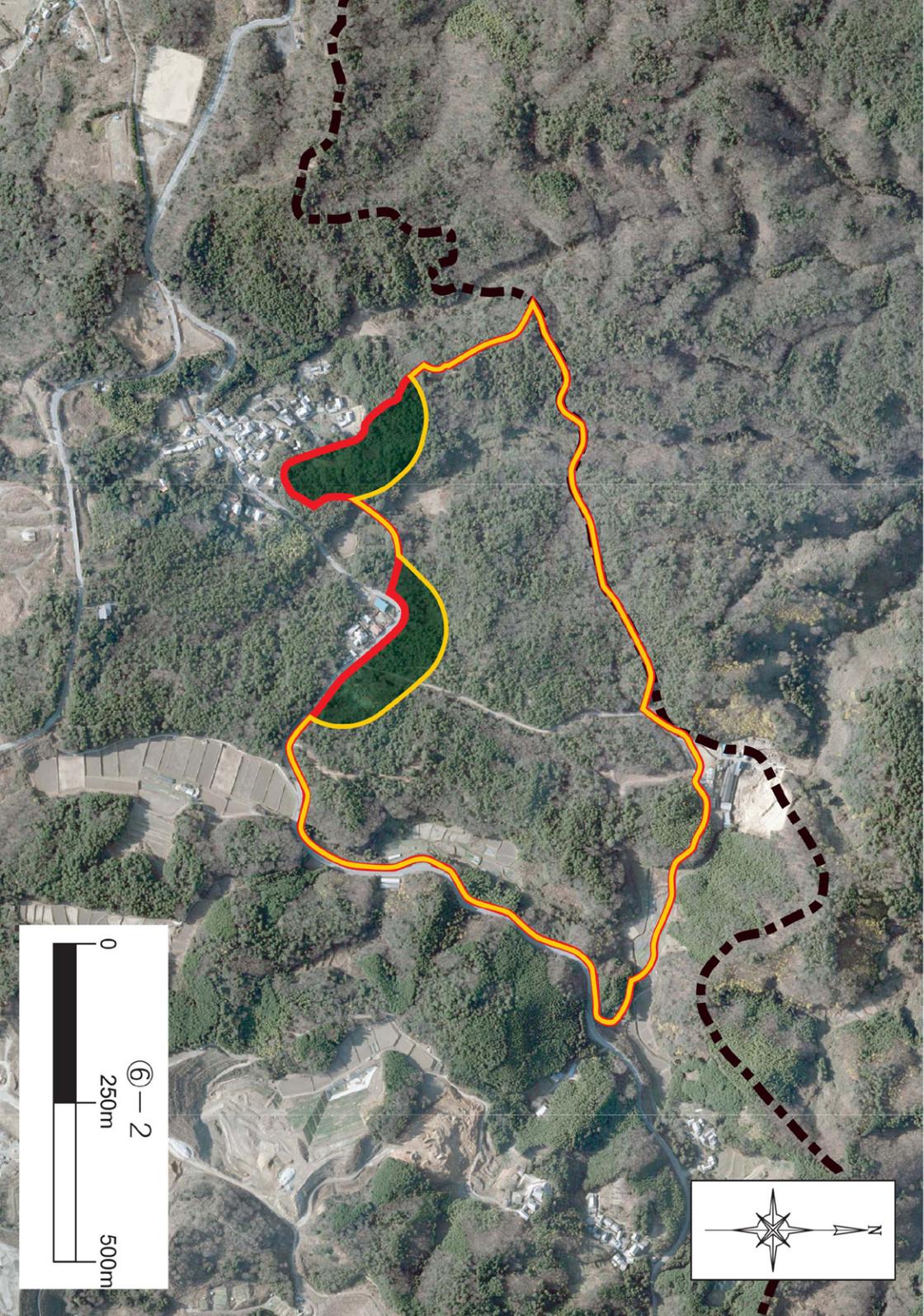
図面作成要領

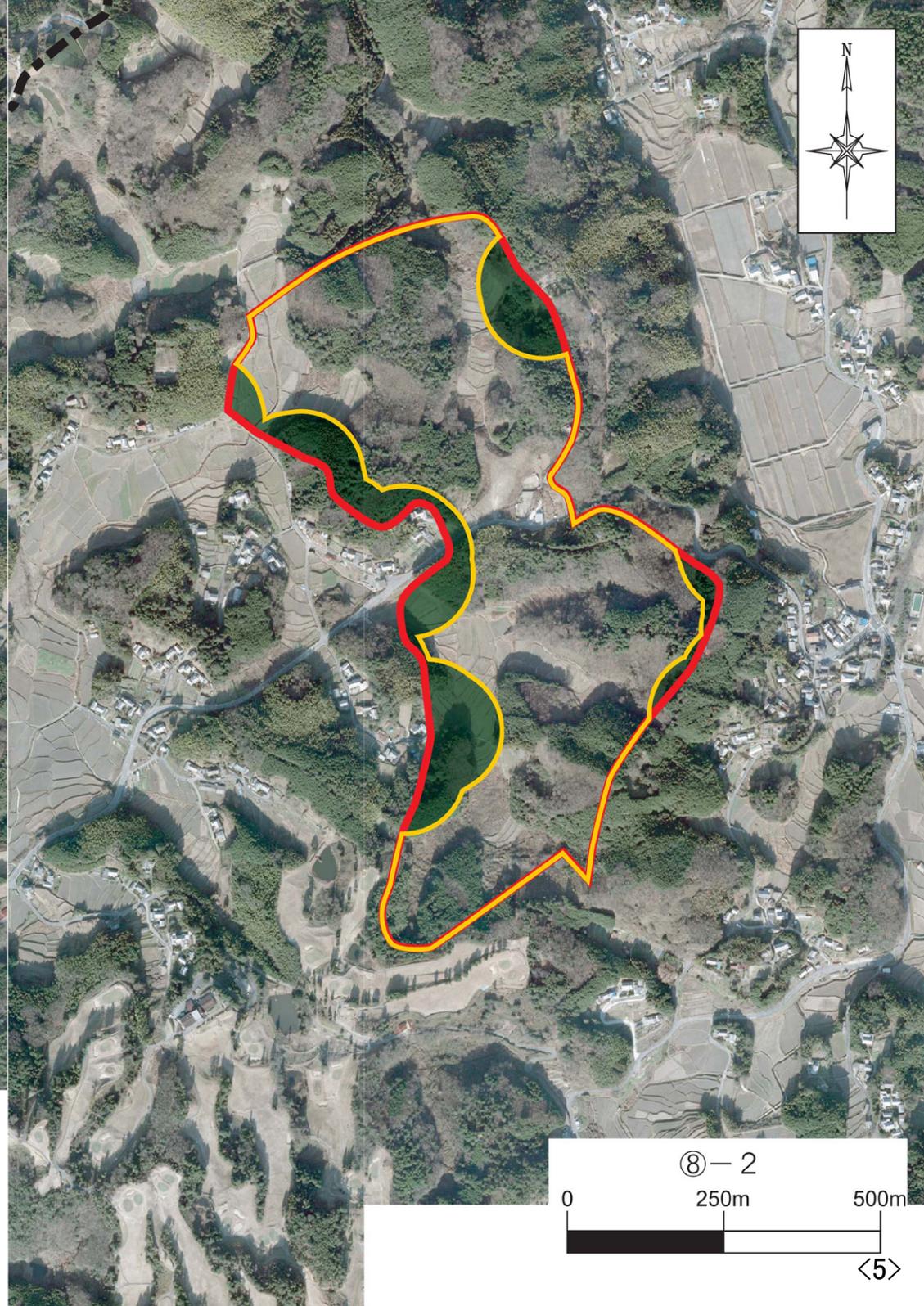
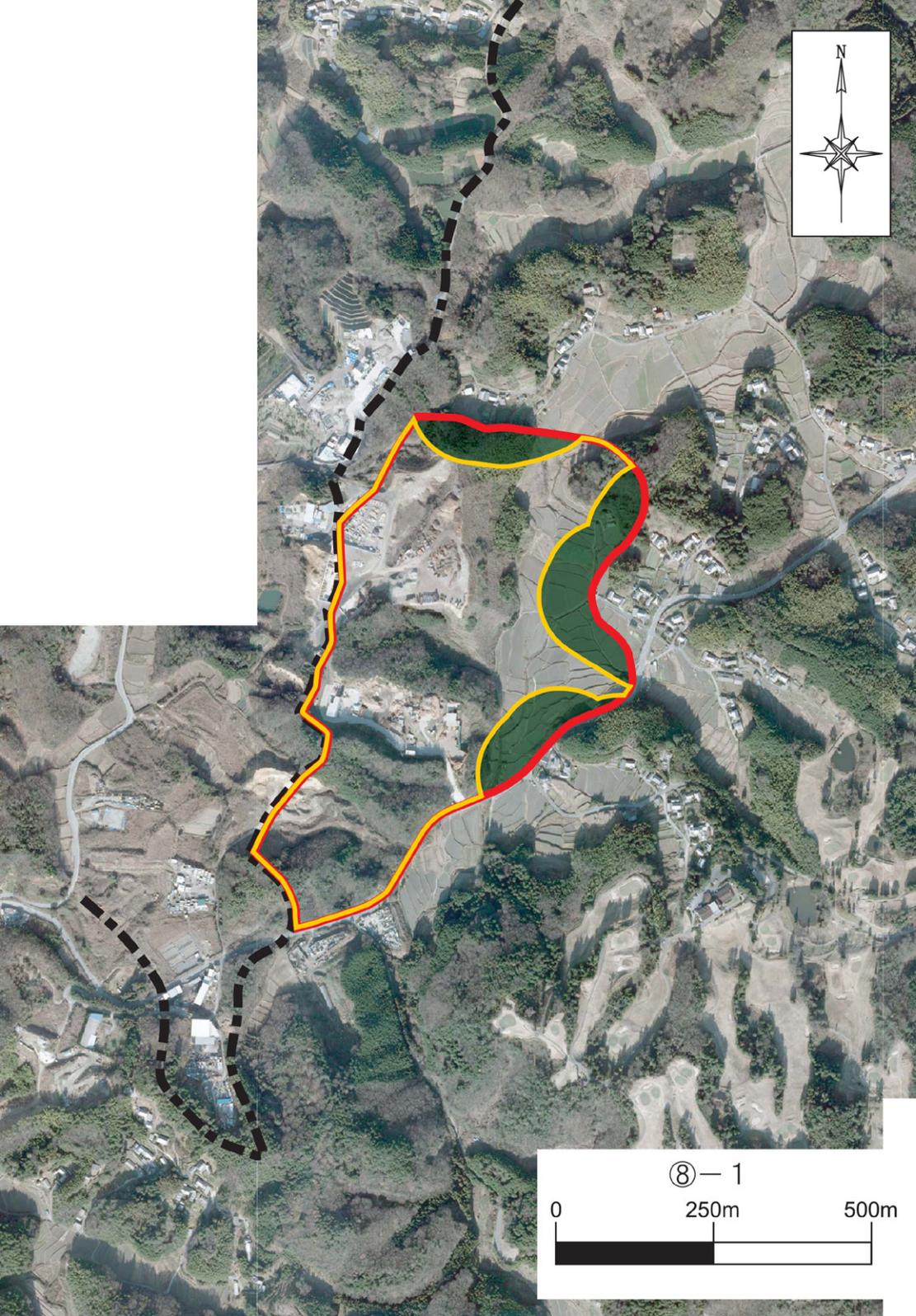
凡 例	
	市界線
	狭域候補地区の区域
	候補地区の区域
	①上記の狭域候補地区で住宅から 100m以内及び活断層から 300m以内の区域を除く ②焼却施設の建設に必要と考えられる敷地幅を確保できない狭隘な区域を除く
	住宅から 100mの範囲
	活断層
	活断層より 300mの範囲

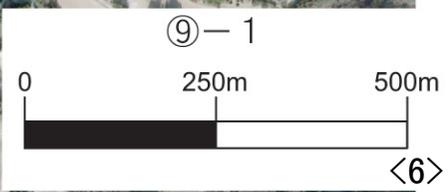
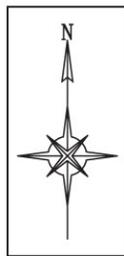
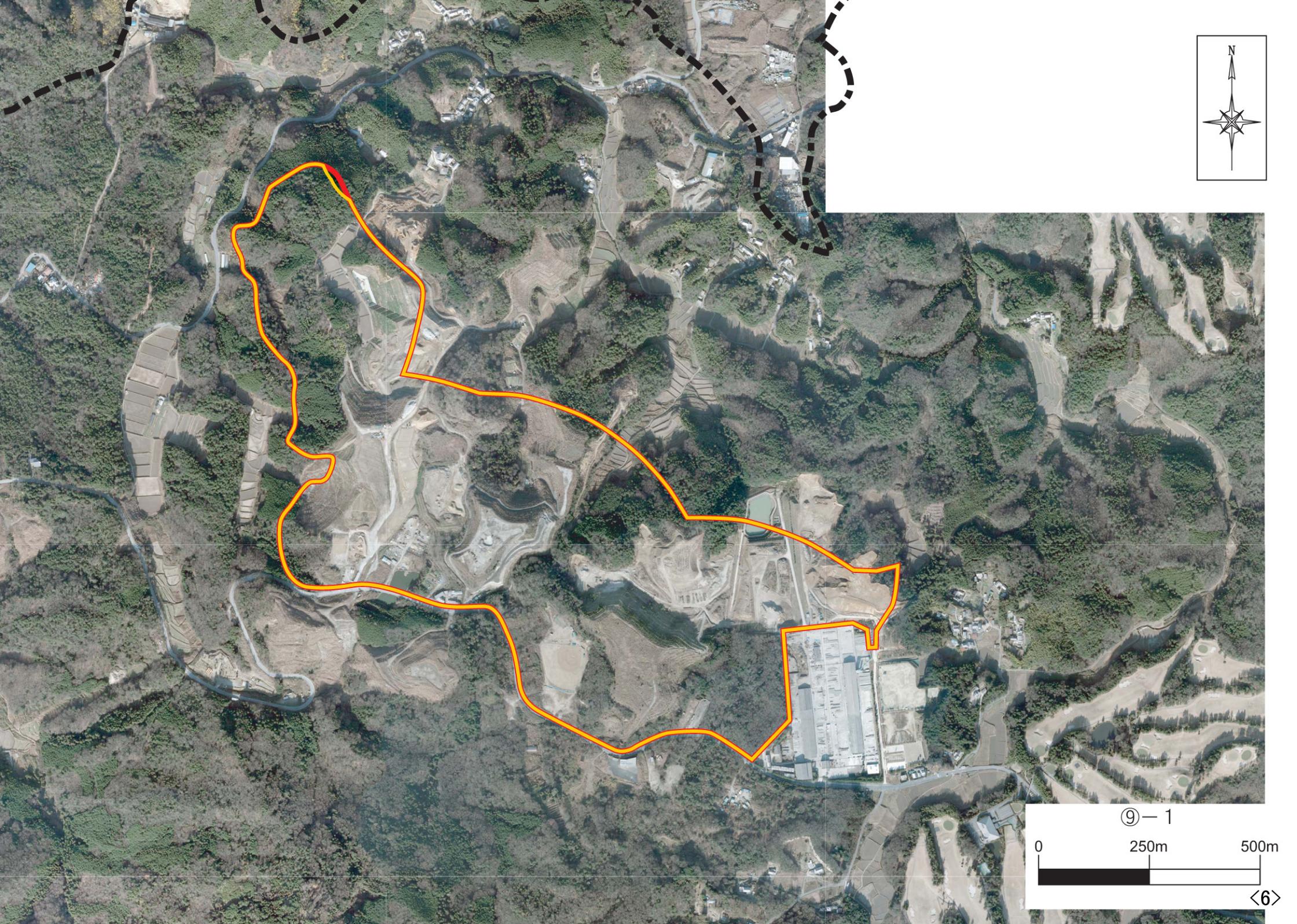
注) 土地利用関係における規制等の詳細については、それぞれの担当行政機関にお問い合わせ願います。

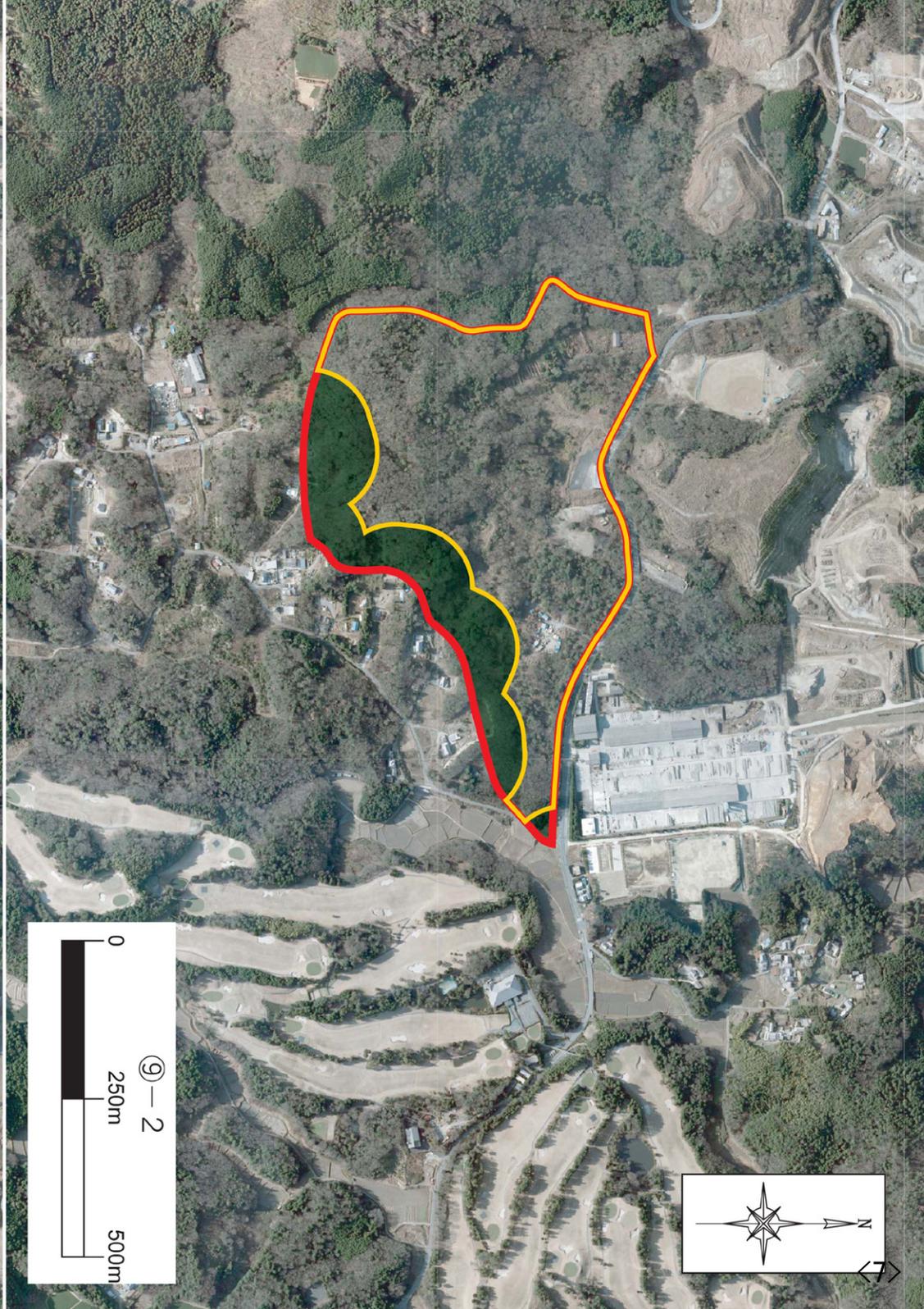
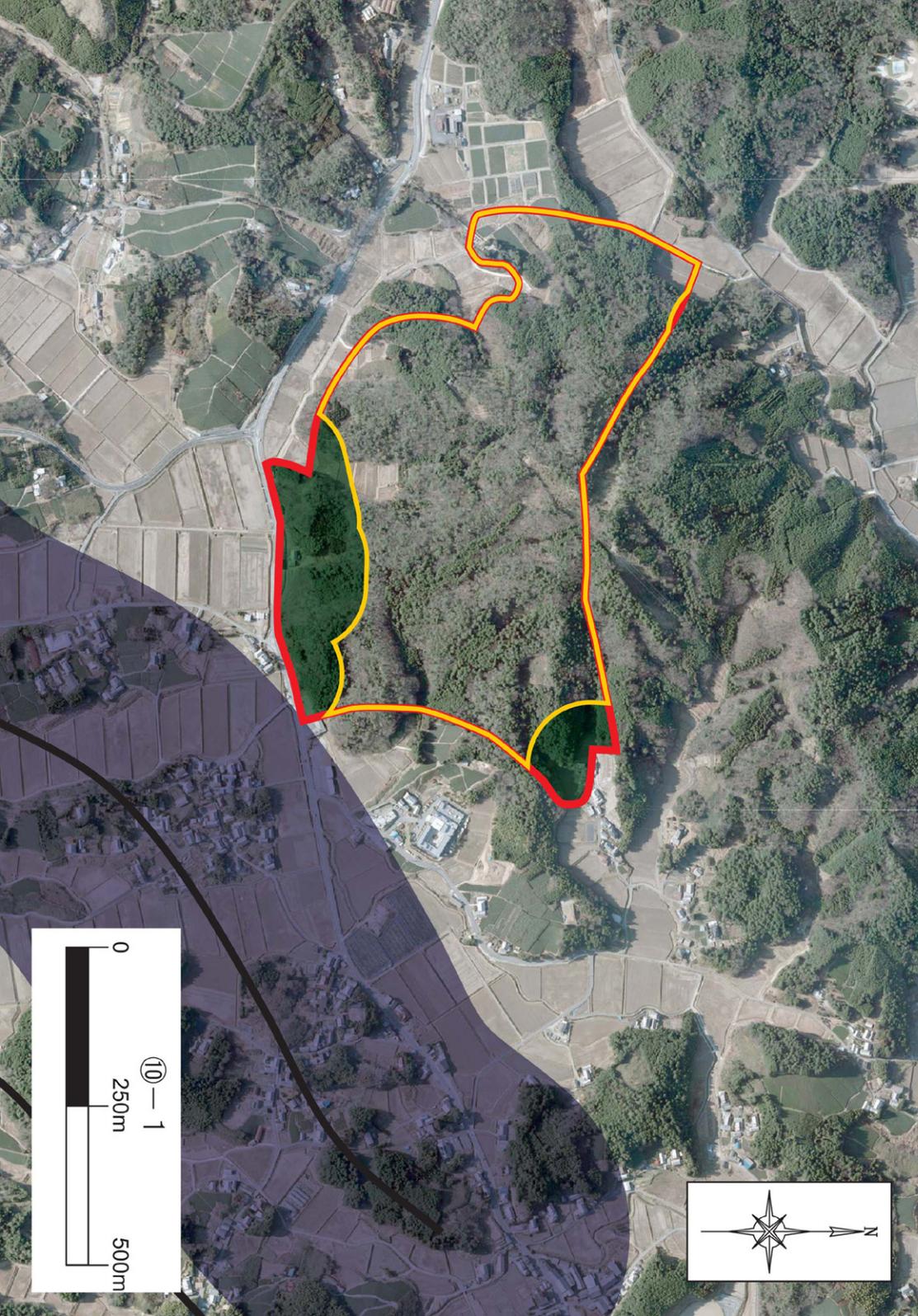












候補地区別の土地筆数及び所有者数一覧表

候補地区	検討后面積 (単位:ha)		筆数	所有者数	台帳地積 (単位:m ²)	備 考 (パブリックコメントでの意見等)
③-4-B	20.05		404	108	196,058.91	反対署名が多数提出されている。
⑤-1-B	18.86		202	88	188,981.18	
⑥-1	14.90		—	—	—	奈良市土地開発公社及び宅地造成事業用地
⑥-2	33.30		278	15	262,613.17	地区番号⑥-1から⑩-1までの7ヶ所については、東部自治連合会より幹線道路の4車線整備が必須との意見が提出されている。
⑧-1	21.97		182	52	200,002.43	
⑧-2	33.60	北側部分	155	43	139,737.00	
		南側部分	182	45	195,337.00	
⑨-1	79.90		368	60	782,533.91	
⑨-2	20.38		127	18	246,206.00	候補地として選定してほしいとの意見が2件あり。
⑩-1	30.12		158	47	246,725.91	
合計	273.08		2,056	476	2,458,195.51	

※1、国・県・市の保有土地は除いております。(道路、水路等)

※2、共有土地については、代表者で計数しております。

※3、台帳地積には、候補地区に一部含まれる土地も全て計数しております。

※4、全体で30筆程度の不明地番もあり、筆数、所有者数、台帳地積は概数です。

施設見学行程

1. 日 時 平成20年8月6日(水)

1. 場 所

・岸和田市貝塚市クリーンセンター 072(436)5389

住所 岸和田市岸之浦町1番2

・泉北クリーンセンター 0725(41)2030

住所 和泉市舞町87番地

1. 内 容

管財課所有のバス1台

参加者 委員21名 事務局4～5名 計 約25名

1. 行 程

8:45 奈良市役所正面玄関附近 集合
9:00 出発
10:15 岸和田市貝塚市クリーンセンター着
施設見学
11:45 質疑応答
12:00 施設見学終了
12:05 出発
12:20 昼食 (場所未定)
13:10 出発
13:30 泉北クリーンセンター着
施設見学
15:15 質疑応答
15:30 施設見学終了
17:00 奈良市役所到着予定

第18回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第18回 奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会	
日時	平成20年6月3日(火) 18:00~19:35	
場所	庁舎北棟6階 第22会議室	
出席者	委員	岡本志郎、片山信行、木内喜久子、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、田中啓義、田中幹夫、古海忍、坊忠一、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、吉岡正志、吉田隆一、四元信義、渡邊信久
	事務局	岩井部長、和井田次長、仲参事、山下課長、堀内工場長、吉住課長、松本補佐、森嶋補佐、平木主任、深村主任
	コンサル	館田剛志、大木雄介
記録作成者	奈良市施設課	
配付資料	資料36 第17回策定委員会開催概要及び議事録概要版 資料37 ごみ焼却施設の候補地選定(案) (参考資料) ・候補地区別の土地筆数及び所有者数一覧表 ・施設見学行程	
会 議 内 容		
部長挨拶 1. 議 事 (1) 第17回策定委員会議事録概要版の確認 (2) ごみ焼却施設の候補地選定について (3) 今後の策定委員会開催日程などについて 閉 会		

	議 事 要 約 内 容
事務局（森嶋）	● 今回は奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会の第18回目の会合となっております。郡舘委員長、本日欠席される旨のご連絡を頂いており、議事進行は委員長代理の渡邊委員にお願いさせて頂いております。今井委員も所用のためご欠席される旨のご連絡を頂いております。
事務局（岩井部長）	「岩井環境清美部部長よりご挨拶」
事務局（森嶋）	● 出席状況ですが、委員総数21名の内18名ご出席頂いており、本日の委員会は成立していることをご報告申し上げます。
渡邊委員長代理 事務局（森嶋）	● 最初に資料の確認からお願いしたいと思います。 「資料の確認」。
渡邊委員長代理 事務局（森嶋）	(1) 第17回策定委員会議事録概要版の確認
渡邊委員長代理 事務局（森嶋）	● 議事録の概要版ですが、事務局に修正点などは入っているでしょうか。
渡邊委員長代理	● 現在のところ、特に頂いておりません。
	● 会議の途中、気が付いたことがありましたら、お願いします。特に発言がなければ承認されたと考えていいかと思っております。
片山委員	「奈良市一般家庭ごみ回収に関するアンケート調査報告書」の説明
渡邊委員長代理	● 以前の何もかも一緒に収集していた状態から、かなり分別するようになって、ごみの量も減ってきて、今までの習慣とは違ったり、もっとやるべきだとかいう意見を率直に、すごいいっぱい書いてくれるんですね。
A委員	● ご要望等頂き、そういうものを考慮しながら、循環型社会形成に向けた、奈良らしい取り組みをやっていければと考えております。
渡邊委員長代理	● 非常に関心は高いと。今後の検討の際には、こういう意識を持った市民も、かなりいっぱいいると感じて進めていきたいと思っております。
四元委員	● この中で18年度一人当たり842gと数字が出ております。委員会の中での搬送の算定の時には433gという数字を使っていますが、どこから出た数字ですか。
事務局(吉住)	● 収集運搬コストを算定する場合の一日当たり433gは、奈良市の収集したごみ量を、奈良市全体の人口で割ったものであり、842gは、奈良市の直接収集するごみと市民から持ち込まれるごみと、事業者や許可業者が持ち込まれるごみ合わせて一人当たり842gになります。
渡邊委員長代理	● 直接搬入で、車の台数だけでも、すごい量が市民から持ち込まれてますよね。非常に特徴的な点ですけども。

渡邊委員長代理	<p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本題に入りたいと思います。前回、いくつか絞り込んだんですが、所有者の情報調べることはできないかという話がありました。 <p>今日は、候補地のランキングをするか、これ以上ランキングは難しいんじゃないかという話も出るかなと。地権者の状況を踏まえて、事務局から説明して頂きたいと思います。</p>
事務局(吉住)	<p>「資料説明」。(資料37)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第17回策定委員会において、15ヶ所の候補地から9ヶ所に絞込みを行った。(9ヶ所の比較表として作成) ・ 候補地区別の土地筆数及び所有者数一覧表(参考資料)
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● ある人が土地をいくつか持っている場合は、例えば③-4-Bの筆数が404で所有者数が108ということは、平均して一人の所有者が、ほぼ4つ弱の土地を持って、分割して売ったりできるという意味なんですかね。絶対に売らんという人がいたら、これはあかんやろうということですが、所有者で絶対に売らんと言ってるのは何人までは、まだ分からないんですね。
事務局(仲) 田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、そこまでは調べておりません。 ● ここまで絞られたら、それぞれが個性的な部分で点数を付けたり、資料37の項目だけでどうやっていくのかという単純なことではなくなってくると思うんです。一つ一つの地区について、プラス要因、マイナス要因を列挙していく作業に入って、全体を見ながら考えていくべきではないかと思います。 <p>項目としては、地権者の協力という観点から、マイナス要因が非常に反対が多い地域だとか、プラス要因は、選定してほしいと申し出てる人がいるとか、市が所有してるとか。経済効率に関しても、道路が付きやすいとか、近いので効率がいいとか。生活環境は、住宅地は100m以内は外してるけども、例えば、北東部でやるとした場合に、経済効率はなるべく西側の方がいいのでしょうけど、北東部の方の西に近くなると、青山住宅との話が必要なのかなという気がします。自然環境でいくと、風致地区とか自然環境保護地区とか近接していることもあるでしょうし、山として残っているのか、すでに開発されてるところ、産廃が埋められてるところとかあると思うんです。</p> <p>地権者の協力体制、経済効率、生活環境、自然環境、この4つだと思うんですが、細かく細かく、その地域で評価していく必要がある。点数が付けられるという問題じゃなくて、その所、所の文章で表現でき、緻密にやっていって、一覧性でできると思います。</p> <p>誰が評価するかですが、奈良市は奈良市の立場で、プラス面、マイナス面を文章で表現してもらったらいいいし、我々委員が、いろいろな経験とか、この場所は知ってるということで、次回までに、委員にもアンケート調査をとって、文章表現で一覧性のものにする作業をしたらいかががでしょうか。</p>

渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 田中委員のお話は、定量的なランキングは難しい。評価軸として、地権者の状況、経済効率、生活環境、自然環境。定性的な比較の項目まで具体的に挙げて頂いたんですが、気になってますのは、道路問題で、他の方発言頂けませんでしょうか。
四元委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 東部の方々、生活道路が、今現在困っているということで、実際通ってみたらよく分かります。あそこに運搬収集車を持ち込むというのは不可能だと思います。⑥-1までは可能と考えております。先については、道路が理論的には拡幅できるでしょうけど、現実問題としては、現状でも通行が困難なところですので、あそこに持っていくのは難しいんじゃないかなと、点数付ける以前の問題じゃないかなと思ってます。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 北東部に関する一番の問題は、南北道路だという理解をしていたんですが、その拡幅、4車線云々という問題は。⑥-1、⑥-2、⑧-1、⑧-2という、そのところの影響ではなくて、いわゆる北東部との関連では、全部問題になるんじゃないかと、理解してたんです。いわゆる東部、北東部の山間部にとってみたら、昔から懸案事項だったと。結局は開発してくれなくて、奈良市の都合のいい焼却場だけをもってきて、他のことについては手をつけてくれない。南北道路の拡幅をどうするか、拡幅でなきゃあかんのか、信号をどうにかする、避難場所、いろんなことができるかと思う。考える余地もない訳じゃないとは思いますが、いずれにしても地権者の協力を得られるかどうかにか集約されるので、地権者のところは、道路の拡幅の要望が出てると、これを解決しないといけないというマイナス要素を入れておいて、それについて検討していくことになっていくんじゃないかと。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料を見ますと、道路の4車線を必ずつけなさいというのを表明しているのは、地図番号⑥-1から⑩-1まで、全部について言ってるんですね。⑥-1はいいだろうと、それはなかなか通らないと思うんです。前回、道路問題について、非常に難しいという説明を皆さんから受けまして、プロジェクトチーム的なイメージで、調査をして動ける体制がいるのではないかと、ご提案があったんですけども、道路プロジェクトチームを立ち上げるとした場合、どなたかお骨折り頂けるかお尋ねしたいんですけど。森住委員は、お願いしてよろしいですか。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員になるのはかまいませんが、位置付けを整理した方がいいと思うんです。道路問題と表現されてるのは、東部の連合自治会の方々の要望ですから、東部の自治会の方々と、私達がどういう関係性を作ったら、道路問題をどういう形にすると解決ととらえてもらえるのが課題です。現状がどうなんだということを私達が十分把握する。次に、地元の方々の要求を満たすために、県と国にして頂こうとすると、どういうハードルを越えなあかんのか調査をしないと、単にお願いしますだけやったら、県と国が何していいか分かりませんね。私達ができるのは、どういうハードルがあって、それを越えるためにどうい

渡邊委員長代理	<p>う手続きが必要なのかを調べた上で、地元の方とお話合いて、結果をここにもってあがるという趣旨の部会です。</p>
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● あくまで東部に焼却施設を移転するとした場合に、可能性を考えて、地元自治会との関係性を、道路を軸に一緒に考えて調査もしながら、ここで話を出す。そういうチームとして位置付けたらと思いますが、どなたか私がつという方。
渡邊委員長代理 吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年の12月に東部の6地区の自治連合会長が連名で意見書が出ています。東部のの方々にとっては、生活道路が渋滞して町にでられないと、若者達も通勤できないので、都会へ行ってしまうと、過疎に拍車がかかっていると、長年の懸案なんですけど、369号線、木津横田線、奈良名張線、奈良笠置線の4つの道路について、4車線整備ということを書いてまして、必須条件に文章見るとなっています。東部のの方々と、胸襟を開いて話をして、話を聞くということも、ごみ処理施設問題を前に進めるためには、必須のことと、私自身感じてますので、委員会として、道路の別の組織を作って、対処することが必要じゃないかなと。でないと、前に進まないと感じてます。⑥-1から⑩-1まで、全部ですから、東部の方おっしゃってるのは、7地点、どう進めるかということが、これにかかっているとと思いますけれども。
渡邊委員長代理 吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 吉岡委員も加わって頂けると理解してよろしいですか。 ● 東部の6地区自治連合会長が連名で協議会ということで出されてますので、連合会の代表としては、是非関与しなければ申し訳ないという気でおります。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● よろしくお願ひします。その他、どなたか。はい。名前が上がった、森住委員、田中委員、片山委員、吉岡委員、阪本委員、この5名でスタートで、また一緒に行動する時とか、是非とも皆さん一緒に陳情なり、やりたいと思います。 <p>9地点で、もう少し絞り込むかどうかって話が、先があまり見えないんですけども、田中委員からは、定性的な比較をするということですが。</p>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路問題で東部のの方々から、大変難しい必須の条件を出されている。かなり難しい問題ではありますけれども、言って頂けるのは、非常にありがたいことだと思いますので、道路問題のプロジェクトチームを発足させて、機敏に動いていくのは、非常に重要なことだと思います。9ヶ所の中からももう少し絞ることになりますと、公募をそろそろ考えてもいいのじゃないかなと。東部の地区の人達、今の時点で、候補として中々手を挙げにくいですから、設置が決まったプロジェクトチームも少し動かして頂いて、例えば9月頃で公募もかけていく作業もしていいのかなと思います。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 用地取得の難易度という項目がありますけれども、これが当面の重要課題ですね。現在は市有地が一ヶ所と、候補地として選定してほしいというのが2件あって、3件の目処がついているということです。残りがどういう意向なのかを聞かないことには、土地が買えるか分かりませんから、公募をして、手を挙げてくれるかを見極めることを、考えていい時期と思うのが一点です。 <p>二点目が、地主の方と地元との関係性が悪ければ、地元の方がOKしてくれ</p>

渡邊委員長代理	<p>ませんから、用地を応募される方は、地元との関係性がどうなってますかという質問も入れて公募されたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公募をするにしても、来週からしましょうといっても、できないと思いますし、田中委員から定性的な比較文章表現によって、これをどれ位緻密にやるかも議論の余地があるかと思えます。定性的な表現での比較表を、次回に案をつくって公募に踏み切り、同時に東部山間の道路問題のことも、並行して進めたらと思うんですが。
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市がかけていい総予算とか、いつまでに完成させないかんとか、土地のどこだけでも折衝に時間がかかる、目的が達するのが段々遅くなるということも避けていきたいと思えますので、項目の中に、予算とか、何をいつまで、どこまでやるんやというPDCAの感覚は入れたいと思ったりします。
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> ● これから道路部会が、検討して、地元の方に会って、ざっくばらんに協議すると、決して北東部だけが狙い撃ちされてる訳じゃなくて、9ヶ所を基準に基づいて選んで、それぞれの地域にプラス要因もあれば、マイナス要因もあるよということも、我々も頭に入れ、北東部の方では、ごみ焼却場を持っていくについては全体から見てプラスだと思われる面が、他の地域より、こういう点ではあるんだよという、頭の整理ができてないと、我々も本当に真意を持って話せないで、北東部の方で、マイナスとされてる部分の、道路の問題をどう取り組んでいくかということと一緒に考えていきたいと思いますということになっていくと思うんです。9ヶ所のプラス要因、マイナス要因の整理をして頂いた方が、道路部会がこれから地元と話すにもいいと思えます。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 期間の点は調停の方で、「20年3月末を目標に候補地選定」となってたんですが、「23年3月末を目標に環境アセスを経た上で新施設の用地を確定。つまり所有権または用益権の取得」となってます。あと3年足らずということになると思えます。ここが今正念場だろうと思えます。用地ということになりますと、取得できなきゃ意味がありませんから、用地取得の難易度、地権者と地元、用地を取得できるかどうか、施設がくることについて、地元の了解が得られるかどうか、ここが最大になってくるんだろうと思えます。参考資料で、筆数と所有者数を出してるんですが、例えば③-4の一番上でいいますと108人の所有者があると。大分この地域では反対署名が出てる訳ですけども、この所有者が、ほとんどが反対署名をされてるようであれば、この取得は絶望的になる訳ですね。そういう関係なども、調べて頂く必要ありますし、他のところも含めて、大口の所有者がいて、10ha以上、一人でお持ちだとか一法人でお持ちだということであれば、その人の了解があれば用地取得ができる。あとは地元との関連性でできますけれども、少し検討を進めてほしいと思えます。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のご意見は、参考資料に反対署名多数提出と書いているので、これを資料37に盛り込んで、自然環境とか、生活環境とかを入れていけば、一覧表はできると。取得可能性で、この③-4-Bの108人が、どれ位反対してるかなんで

<p>事務局（仲）</p>	<p>すが、事細かに調べなくても、ポンと公募してもいいんじゃないんですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土地の所有者の意向を調べるというお話が出てる訳で、調べることは可能ですが、個人情報関係もありますので、公表していいのか疑問に感じております。公募すれば、公平に9ヶ所の中から、売りたいという方は出てこられるかと思えます。公募の案を一度作らせて頂いて、それを見て考えて頂いたらどうでしょうか。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局から次回、公募の案出したいと表明がありましたが、定性的な比較一覧表もつけてきて頂けるんですか。
<p>事務局(吉住)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特性でプラス要因マイナス要因は、こういうものがありますと、現場の土地利用、収集運搬コストも考慮に入れ、次回に提案させて頂きたい。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回に、公募の案と文章表現での比較表をご準備頂いて、同時に道路の件については、並行して。作業量も多いですが、よろしく願います。 施設の見学の予定が組まれており、事務局からご説明頂いたらと思えます。
<p>事務局（平木） 渡邊委員長代理 森住委員</p>	<p>「施設見学行程の説明」（参考資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 8月6日、朝から見学ということで、計画したいと思えます。 ● 泉北クリーンセンターの方は、住民との関係がよくなったところで、20年来、協議会が出来ており、施設の運営とごみ処理のあり方について行政側と話し合い続けてます。会長の方に、この日に来て頂いて、経験を語って頂けないかと言いましたら、了承を得られたので、会長さん役員さんが来て頂けると思えます。住民との関係が初めは悪かったんです。建替え反対運動が起りまして、私も最初から関わらせて頂いて、行政が汗かいて頂いて、いい関係ができ、施設が増設され、その後協議を重ねながらやっています。住民とどう関係性を進めていったらいいかという観点からは、参考になります。
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今のところ、出してもらえます。ここなんですけど、これ発電能力9,300kwで焼却が300トンなんです。発電の効率、理論的な効率がほぼ30%なんです。先日大阪市の舞洲工場に行ったときに、32,000で、発電効率30%越えるんですよ。実際焼却炉で、手袋はするんですけど、触れるんです。触れるということは熱が漏れてない。その分ボイラーで熱を回収してるんです。すばらしいんですけど、全部水蒸気のエネルギーに変えて、30%の発電をすると、かなり無理があるはずなんです。通常20%もいかない。最近のはそこまで行くらしいんですけども、展示用に、今何キロワットの発電をしていますというコーナーがありまして、32,000のはずが19,000で動いてました。僕はそれでいいと思ってるんですけど、火力発電所と違いまして、ごみが出るスペックは、実際には中々難しいと言っても過言じゃないかと思えます。
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 泉北は、住民と行政とうまくいっているということであれば、一同に会して頂いて、質疑応答一緒にやらせて頂いて、折角ですから、5時には帰りたいですけど、1時間程遅れても、行く以上は十分に議論して、参考になる話は聞け

事務局(吉住)	<p>るように組んで頂けたらと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 6月後半に、相手の市役所に行かせて頂いて、調整する予定をしておりますので、地元の会長さんが1時間位のお話頂いて、残り1時間見学頂くことも含めて調整させて頂いて、出席頂く方にはお知らせさせて頂きたいと思います。
渡邊委員長代理 事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見募集の概要のHP掲載のことで事務局から説明願います。 <p>「皆さんから頂いた意見について、A4で5頁位の概要版を、HPへ掲載させて頂きたい」という提案。</p>
渡邊委員長代理 渡邊委員長代理 事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回の資料の意見の概要ですよね。それをHPに載せるんですよね。 ● この委員会からの見解というのは、何か載せるんですしたっけ。 ● 意見募集をした結果、どのような意見がありましたということで、概要として整理して載せさせて頂いたらということで。
渡邊委員長代理 佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たにそれに我々が付け加える訳ではないんですね。 ● 渡邊委員長代理が確認された通り、取り敢えず、早くお返ししなければなりませんので、こういう内容の意見が寄せられたという概要を、なるべく早く市としてお出しになると。委員会として中間報告は、最初に事務局に作って頂いた物について、森住先生が中心となって、委員長代理なども入って議論をして、ここで確認をした、斬新な中間報告を出しました。その中でご意見を頂きたいと。それを反映させて頂きますという趣旨のことを、中間報告にありますので、委員会で、主体的な取りまとめをした応答があるんだと思います。急ぐことありませんから。取り敢えずは出して頂いて、委員会でも検討して進めたらいいんじゃないかなと思います。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> ● 議事録は公開されている訳ですし、実際意見というのは、12月、1月、2月から3月頃まで来たんですよね。今から公開しても、そんなにおかしくはないと思いますのでよろしくお願い致します。
渡邊委員長代理	<p>(3) 今後の策定委員会開催日程などについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次回は8月12日火曜日です。その次が9月30日。次回に、公募の案と文章表現での比較表を出して頂くことになると思います。あと道路の件、何か進んでましたらお願い致します。 <p>早いですが、これで今日は終わりということで、皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
事務局(森嶋)	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設見学会は8月6日、水曜日午前8時45分に市役所正面玄関付近の集合となっております。次回策定委員会は8月12日の開催でございます。本日はこれを持ちまして閉会とさせて頂きます。